

2023年10月2日運営協議会
2023年10月16日部科長会
2023年10月25日教授会

2023年10月2日

福岡工業大学 学生・大学院生の皆さんへ

福岡工業大学における生成 AI 利用に関する指針

教育開発推進機構長（副学長）前田 洋

本年7月13日付で文部科学省から「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて（周知）」^[1]が示されました。それによれば、大学等において「それぞれの教育の実態等に応じ、今後の状況変化を踏まえて指針等の内容を見直すことも含め、主体的に対応いただくことが重要」とされています。

そこで教育開発推進機構は9月14日にFD Caféを開催し、教職員を対象に生成 AI およびそれを含むサービス事例の勉強会と、教育や学内業務における利用を想定した意見交換を実施しました^[2]。

本学では既に4月21日付で学生向けの生成 AI 利用に関する注意喚起を発表していましたが、上記の文科省周知およびFD Caféでの意見交換を踏まえ、教育開発推進機構長がこの文書としてまとめ直しました。以下に（1）一般的な留意事項、（2）学生向け指針2項目を示しています。

福岡工業大学のすべての学生・大学院生の皆さんが下記の留意点および指針を一読し、生成 AI の特徴を理解した上で、適正な使用に努めるようお願いします。

記

（1）生成 AI 利用に関する一般的な留意点

生成 AI を利用する場合に、2023年9月時点で、一般に以下のような留意点が指摘されています。

1. 生成 AI 利用サービスは各種提供されており^(*)、その利用にあたっては利点と懸念について理解しておく必要があります。
*代表的なサービスとして、Chat GPT、Bard、Bing チャット等（Microsoft Edge の AI チャット機能）があります。
2. 利点として、自身で作成した文書を生成 AI で要約や箇条書きにさせ、最終的に自分でまとめることは、文章の推敲において有効な場合があります。（対話的な利用）
3. 同時に以下の懸念があります。
① 生成 AI の出力が現実や事実に基づいていない可能性（結果に誤りが混じっている恐れ。ハルシネーションと呼ばれる。）

2023年10月2日運営協議会

2023年10月16日部科長会

2023年10月25日教授会

- ② 法的な権利侵害の可能性（AI が学習に用いたデータや、その出力に関する著作権侵害が指摘されており、自分が知らないうちに権利侵害に加担してしまう恐れ）
 - ③ AI 出力に含まれるバイアスの問題（AI が学習に用いたデータに起因して偏った見方を示すことがあり、倫理的問題を含む恐れ）
 - ④ 個人情報や機密情報流出の問題（生成 AI に個人情報や機密情報を含む質問をすると、その質問内容が他者に漏洩する可能性）
- ただし、これらの課題の一部を解決したサービス^[3]も提供されており、利用者自身による確認が必要です。

（2）学生向け指針

指針：不適切な生成 AI の利用をしない

1. 生成 AI の出力を鵜呑みにしない。別資料をあたって真偽の確認が必要です。
2. 生成 AI の出力を課題の解答などに断りなくそのまま使用しない。剽窃行為、いわゆるカンニングや盗用と同等とみなされることがあります。
3. 個人的な生成 AI 利用であっても、その出力が適切かどうかを考慮せず、そのまま SNS 等に公開しない。

指針：学生が自身を守るために必要な知識を備えること

1. 生成 AI に個人情報や機密情報を入力しない。AI 入力からこれらの情報を除外する、オプトアウト機能^[3]についての理解が必要です。
2. 生成 AI は、学習時のデータ収集とそれに基づく出力に関して著作権を侵害している可能性があります。そのような AI 出力を安易に利用してしまうと法律に反する行為にあたる可能性があるため、注意が必要です。
3. 生成 AI の出力には、人種やジェンダーなど立場の違いに関してバイアスがかかっている可能性があります。そのような出力を安易に信用してしまうと、自身が倫理に反する行為をしている可能性があります。注意が必要です。

以上

[参考]

- [1] 文部科学省高等教育局 専門教育課 大学教育・入試課「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて（周知）」 https://www.mext.go.jp/content/20230714-mxt_senmon01-000030762_1.pdf（2023年7月13日）
- [2] 第30回 FD Café「生成 AI の利用について～可能性と課題～」(2023年9月14日開催、福岡工業大学) <https://oped.fit.ac.jp/news/96/detail>
- [3] 例えば「ChatGPT オプトアウト」でインターネットを検索すると、利用者が ChatGPT に入力した情報を AI の学習データから除外するよう申請する方法が見つかります。